

すぎのこ

169

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2023 1/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
狭山研修センター：〒350-1315 埼玉県狭山市北入前695-1 TEL.04-2968-4721 FAX.04-2950-7706
滝沢研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1015

2面・3面 巡回公演だより/園からの声/制作だより/講習会報告 演育ワークショップ
4面 劇場公演 すぎのこ人形劇フェスタの報告/事務局だより/活動記録 ほか

<http://www.suginoko.org/>

E-mail: support@suginoko.org



河口湖からの富士山

すぎのこ芸術文化振興会の更なる発展のために

理事長 大場 隆志

新年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、皆様におかれまして、本年も素敵な一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新型コロナウイルスの感染が報告されてから今年で三年が経過しました。昨年新型コロナウイルスの感

染拡大によって、日本の芸術文化は苦境に立たされました。

私たちが公演の中止、延期、キャンセルが相次ぐ中、できる限りの演劇活動を提供してまいりました。

新しい生活様式の中で、演劇活動をどう続けるのか。

失われた幼稚園・保育園との関係をどう取り戻すのか。

芸術文化や教育の持つ力をどう再定義して伝えていけばいいのか。苦境の日々は続いております。

しかし、芸術文化は、疫病や大恐慌、戦争、テロが勃発しようとも、滅亡することなく、新たな活路を見いだし人々の生活の中で巧みに存続を固ってきたことは、歴史が証明しています。

私たち、公益財団法人すぎのこ芸術文化振興会もこの苦境を乗り越え、新たな活路を見いだし、人々の生活の中で必要不可欠とされる価値を提供し続けられるよう努力

してまいりますので、これからも変わらぬご愛顧を賜りますようお願いとぞ、よろしくお願いたします。

今年からの更なる発展のために、昨年ご逝去された稲盛和夫氏の素晴らしい生き方から、この苦境を乗り越える教を学び、心に刻みたいと思っておりますので皆様にも紹介いたします。

講話では、八十一年の人生を振り返っての感慨を次のように述べられておりました。

私は今日まで生きてくる中で、多くのことに気がついておりますが、その一つは、現在が苦しいのは愚痴や不平不満を鳴らしてやまないというものです。

しかし、その愚痴や不平不満は、結局自分自身に戻ってきて、自身自身をさらに悪い境遇へと追いやってしまうのも常であります。そのことを、私は自分の八十年あまりの人生で体験をしてまいりました。

人はどんな境遇にあろうとも、感謝の心というものを忘れてはならないのだと、私は思っております。

常にご感謝をし、自分の周囲にいる人々に対しても御礼を申し上げます。また、現在のこの会社、そして自然に対しても感謝をする。そういう美しい心を持つことがたいへん大事なことで、私はかねてから思っております。同時に、そのような澄み切った美しい心を持って人生を生きていけば、必ずその人の人生には素晴らしい未来が待ち受けているのだと、私は固く信じております。

人生というものはどのようにつくられているのか、自分には将来、どのような人生が待ち受けているのかということ、誰も知るよしがありません。しかし、「人生というものはどのようにつくられているのか」ということを、若干でも知っているのと全く知らないのでは、今後、皆さんが歩いていかれます人生の方向は変わっていくように私は思います。と云われておりました。

新しい年を迎え、苦境の中、一人静かにこの言葉をかみ締め、自らの糧として、すぎのこ芸術文化振興会の更なる発展を目指してまいります。

巡回公演だより

はだかの

王様

班

はだかの王様班の秋の巡業は東北地方でした。旅は紅葉の色づき

はじめより始まり、何回か東京に戻りながらも、木々がしっかりと美しく色づき、高い山には白い雪が見える頃まで続きました。

今回観てくださった園の中には、コロナの影響で3年ぶりの観劇と

いうところも多く、そういった園では、子どもたちにとって初めての人形劇観劇になったようです。子どもたちの多くは人形劇を心待ちにしている、普段は朝ギリギリに来る子も早くから来ていたり、



お昼寝がいつもより早く起きたりしていたそうです。なんと嬉しいことでしょう。

上演中の子どもたちはお話の中に入り込んでくれます。私たち演者は子どもたちの反応を感じながら人形を遣います。そこには生の人形劇ならではの温かい空気が生まれる、人形劇が愛され続ける理由はここにありのかもしれない。王様班は年明けから関西、九州と巡業します。観てくださる方々に感動していただけるよう頑張ります。どうぞ今年もよろしくお願います。

(和田 宣子)

たのきゅうのうわばみ班

二期、たのきゅうのうわばみ班は、中国地方で巡回公演をしていました。美しい紅葉の中、



2023年、今年こそは所問わず、笑顔で大きな口を気兼ねなく開けて、パクパクムシヤムシヤ食べたいですね。最近ではマスクがなかなか顔の肌着化しているような気がしますが、園児さんたちの表情が分からないのが残念で、少し寂しさを感じています。致し方ない事なのですね。司会のおねえさんの最後のセリフで、「おむすびがコロコロ転がってみんな仲良くなりました」と言うのがあります。私たちおむすびころりん班も俄型のワゴン車でコロコロ転がって全国を回っ

巡回車を走らせ、子どもたちの笑顔に会いに行く朝は心が弾み、この仕事をしていた良かったとしみじみ感じました。上演では、たのきゅうがうわばみが退治するシーンが盛り上がり、子どもたちがたのきゅうを一生懸命応援し、手をたたき姿に、悪役(うわばみ役)の私も思わず頬が緩みそうになります。上演後は興味津々にうわばみに

近づいてきてくれる子どもたち。その反応は様々です。うわばみが動くだけで怖がって逃げ出す子。

おむすびころりん班

(霍 猛)

「みんな違ってみんないい」「みんな違ってみんなおいしい」三角、丸、俵に四角形... 「おむすび」「おにぎり」諸説よび名の由来は色々ありますが、農民や庶民が米を握っていた「おにぎり」、語呂がよくて「鬼切り」、昔の貴族が上品に握って「おむすび」。

うわばみをやっつけようとする。うわばみの口に、自分の手を入れて食べられる振りをする子。子どもたち、一人一人の個性を感じます。

今年度も後三カ月。子どもたちの豊かな感性に刺激を受けながら、自分の役に向き合い、日々精進してまいります。

園からの声

はだかの王様

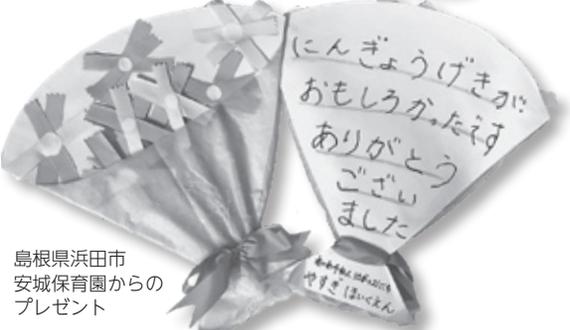
認定こども園遠山幼稚園・遠山保育園 (宮城県宮城郡七ヶ浜町)

昨年の劇を思い出し、朝から楽しみにしている声が聞かれました。始まるたびに引き込まれ、目を皿のようにして見入っていました。見終えて、3歳児では、3匹のヤギが印象に残ったようで、トロールに見立てた紙や布を見つけてトロールになっていました。4歳児では、台所用具で音が鳴ることに驚き、さっそくままごとの道具で音探しを始めた。人形劇をやってみたくてという子どもたちが出てきました。

5歳児では、3匹のヤギの3番目のヤギとトロールの意表をついた登場や展開に驚き、はだかの王様の最後の国民を守る言葉に共感の言葉をかけたりと、最後まで楽しんでいました。また、人形の動きの仕組みについて疑問を持っていた子どもたちは、実際に人形を見せてもらいながら話を聞くこともでき、充実した観劇会になりました。ありがとうございました。

将監幼稚園 (宮城県仙台市) 新型コロナウィルスの流行により、3年ぶりになった今回の観劇。園児・職員・保護者、皆が楽しみ

島根県浜田市杵束保育園からのプレゼント



島根県浜田市 安城保育園からのプレゼント

にしておりました。改めて人形劇の良さを実感。保護者からは「とても良かったです。楽しませていただききました」等の声が聞かれました。子どもたちも「たのしかったです」のひと言。そこに、感じた全てが含まれていると思えました。また来年も楽しみにしております。ありがとうございました。

たのきゅうのうわばみ班

平田保育園 (山口県岩国市) 久しぶりに観劇させてもらい、とても楽しかったです。子どもたちも喜んでいました。コロナ禍、大変だと思えますが頑張ってください。

比津ヶ丘保育園 (島根県松江市) 題名だけ聞くと難しそうでしたが、子どもたちは劇団の皆様の演技とステージの演出に引きつけられ、とても集中して観劇していました。見終わった後も、プロップや紙を使って、うわばみを作ってお迎えのお母さんたちに披露していました。楽しいお話がありました。 ■めぐみ幼稚園 (山口県下関市) 「猫と毛糸玉」は、セリフ無しという点もあり、演技されている猫の動きに、子どもたちが引き

おむすびころりん

牧之原認定こども園 (鹿児島県霧島市) 始めの犬とたぬきのやりとりがとてもおもしろく、職員も子どもたちも一緒になって楽しむことができました。場面ごとにいるような道具も登場し、1時間飽きることなくお話に入り込むことができました。ありがとうございました。 ■ひかり保育園 (長崎県南島原市) 「おむすびころりん」は知っているお話で、子どもたちもとても楽しみにしていました。内容や人形表現もとてもおもしろく、子どもたちも終始笑顔で楽しく観るこ

ずいてん・ねずみの嫁入り班として、長野を中心に関東近郊を巡回させていただきました。今回は二つのお話で、上演時間が30分程度の作品です。演じている側としては、他作品と比べると少々短めだと感じますが、観ていただいている先生方からは「30分とは思えない、見どころが満載だった」というお話をよくいただきます。

この作品は、昔から上演しているお話で、私も何度も出演していますが、今後も子どもたちや先生方に満足していただけるような作品作りをしていきたいと思っています。

(太田 金)

ずいてん・ねずみの嫁入り 班

ているので、皆さんに素顔のニコニコ笑顔でお会いできる日を楽しみにしています。

(小杉 正繁)



新年あけましておめでとうございます。昨年コロナの影響で公演数は少なかったもぐもぐ劇場ですが、一つ一つの上演での子どもたちとの出会いは、とても楽しい時間でした。その時の作品「かもとりごんべえ」は、初演から30年以上上演していますが、今も新しい発見があります。ごんべえさんの心情の変化、笑い、怒り、悲しさなど。それぞれの感情の揺れ動く流れを自分の肉体（自分自身がかもとりごんべえになる）で、どう表現するか。こ

もぐもぐ 劇場 班



んべえの人形でどう表現するか。まだまだ課題があります。

また、子どもたちの反応もいろいろあり、毎回発想の豊かさに驚かされます。ごんべえが鴨を捕らえる罠にかかってはずそうともがいていると、子どもから「ハサミを使えばいいよ！」と声がかかったこともあります。

すぎのこは、今年の8月、創立59年を迎えます。これからも全国の子どもたちに、すぎのこのテーマである「ナマの舞台の感動を！」届けられるように精進してまいります。

(下村 あきら)

講習会報告

演育ワークショップ

昨年は4月から12月まで7回にわたり、埼玉県飯能市さゆり幼稚園において、演育ワークショップを実施しました。

- 4月 生き物の表現（自由な発想でごっこ遊び・身体表現）
- 5月 ストップモーション（ストップモーションで、一体感を感じ取る）
- 7月 ものの表現・サイレントパス・伝言ゲーム（自分の意思を伝える）
- 9月 誰が…何を（自由な発想で身体表現）
- 10月 オノマトペ・発声訓練（音を聞いて身体で表現）
- 11月 かちかち山①（絵本の読み聞かせ・見る・聞く・感じる力を養う）
- 12月 かちかち山②（他の人の話を聞き、違いを感じる）

以上の内容で実施いたしました。

始めたばかりの頃は、どうすればいいのかわからない子もいましたが、回を重ねるごとに、少しずつ子どもたちそれぞれの個性あふれる表現が出てきました。

「演育」とは、知識の教育・感性と心を育む教育・健やかな体を育てる教育を統合し、演劇的方法を活用し、見る、聞く、感じる、考える、話す、伝えるという人としての基礎能力を育み、多様な価値観がぶつかり合う時代に、他の人と異なる視点を持つことの大切さと、相手を理解することです。

今年も演育ワークショップを全国展開していきますので、興味を持たれた方は、お問い合わせください。

(下村 明)

制作



新年あけましておめでとうございます。

令和という元号に変わり5年目という、ちょうど切りのいい年度となりました。この新元号には慣れてきましたが、新型コロナウイルス

ルスは落ち着くことなく、まだまだ猛威を振るっています。

ですが非常にありがたいことに、すぎのこの人形劇を見てくださる園様の数は、少しずつではありますが増えてきております。私自身も複数回出演していますが、「頑張ってください」と激励をいただくとともに、「久しぶりに人形劇を見られてよかった」と先生方からお言葉をいただくことが多かつ

たです。子どもたちだけではなく、先生方もこの状況に疲労や閉塞感が、まだまだあるのだと感じています。

今後私たちすぎのこの人形劇を観てくださる方々の心の清涼剤となれたら、と思いつつ上演や営業に取り組んでいこうと思っております。皆様ぜひとも、今年もすぎのこをよろしく願っています。

(太田 金)

ができました。ありがとうございます。

一つめの「ななかよし」というお話もとても楽しそうに観ることができ、みんな笑顔でした。

■佐賀県の保育園

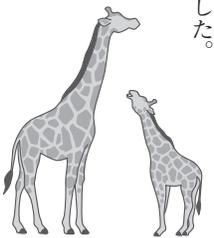
「おむすびころりん」は昔話の中でも子どもたちになじみのあるお話だと思いますが、そのなかで

も、穴の中のねずみ一家の生活の一場面が垣間見え、ねずみ一家の目線でお話がふくらんだことで、子どもたちが他の話でも想像力が豊かになるだろうと感じました。

登場人物の動きやセリフがなめらかだったりコミカルだったりして、子どもたちはお話に引き込まれ、目を輝かせていました。最後

みんなが互いのことを思いやり過ごせたところも心に響きました。

今年も楽しい時間をありがとうございました。



劇場公演

すぎのこ人形劇

フェスタの報告



昨年10月6日(木)に東京都台東区の飛行船シアター、そして11月12日(土)に東京都国立市のく

今回上演した「三まいのおふだ」と「そっくりのくりのき」は、すぎのこの巡回公演で各地の幼稚園、保育園、ご施設にお届けしている

気に生まれ変わりました。

観終わったあとに、「楽しかったー」「また観たい」と話している子や、感動して涙を流している子がいたり、楽しんで帰る子どもたちがいたりして、大変嬉しく思いました。

通常の巡回公演や今回の劇場公演など、これからもすぎのこは様々な形で人形劇を皆様にお届けしていきたいと思えます。ご来場いただいた皆様、ご協力いただいたスタッフの皆様、心よりお礼申し上げます。

(菅谷 香純)



事務局 だより



嬉恋研修センターのご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会(現公益財団法人JKA)の補助により建設された「すぎのこ山荘」と日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく

村」からなる「すぎのこ嬉恋研修センター」があります。



嬉恋研修センター

この施設は緑豊かな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地し、音楽や芸術等の芸術文化活動や公益活動にお貸ししています。合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。(利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません)

近くには、海拔1240m、周囲2kmに及ぶバラキ湖をはじめ、近隣に日帰り温泉「湖畔の湯」や

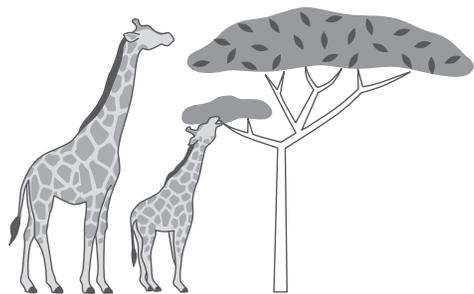
賛助会員を募集しています!

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。

- 1. 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
(1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」
個人 年額 3,000円 以上
団体 年額 10,000円 以上
(2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」
個人 年間 3日間以上
団体 年間 5日間以上
3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならぬ。
4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
6. 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

活動記録(令和4年10月~12月)

Table with 2 columns: Date and Activity Description. Includes dates like 10/6, 10/30, 11/12, 11/30, 12/7, 12/27 and activities like 'すぎのこ人形劇フェスタ @うえの' and '第二学期全国巡回公演終了'.



バラキ高原嬉恋スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはパーベキューが楽しめる集会所が整備され、日本キャンパ協会の優良キャンプ場として認定されています。
嬉恋研修センターに関するお問い合わせ
E-mail: support@suginoko.org
または03-3984-2396 (事務局)